

「情報通信シンポジウム in 北陸」を開催

総務省北陸総合通信局（局長：吉武 洋一郎）は、北陸情報通信協議会（会長：北陸経済連合会会長 新木 富士雄）との共催により、4月21日、情報通信シンポジウムを開催いたしました。

本シンポジウムは、北陸地域が今後より一層の発展を図っていくためには、北陸の知力を結集し、中国をはじめアジア全体、世界各国に目を向け、よりグローバルな観点から検討を行うことが必要となっていることから、北陸地域の発展に向け、国際競争を視野に情報通信をサポートインダストリーと捉え、その解決策等について幅広い観点から議論するため開催したものです。

最初に、「中国最近の経済事情と日中協力について」と題して、「中国駐日本国大使館 阮湘平参事官」による基調講演が行われました。

基調講演では、「中国は今後も対外貿易の伸びに併せて GDP も増加していくことが予想されているが、併せて、就職拡大、社会保障などの課題解決を図っていく必要がある。また、日中協力で重要となる分野としては、新エネルギー・省エネルギー対策、情報通信、観光などについて連携していくことが重要である」との話がありました。

その後、細野昭雄アイ・オー・データ機器社長をコーディネーターに、金岡克己インテック社長、進藤哲次福井県情報システム工業会会長、吉田美喜ホテル百万石女将がパネラーとして参加し、各々の立場から日本と中国との関わりや問題点、今後の協力の在り方などについて討議されました。

130名の出席者は、熱心に聴講していました。

なお、本シンポジウムは、北陸情報通信協議会の新たな活動のスタートを記念して開催したものです。



【パネルディスカッション全景】

連絡先：情報通信部電気通信事業課
（担当：山田、下島）

電話：076-233-4420